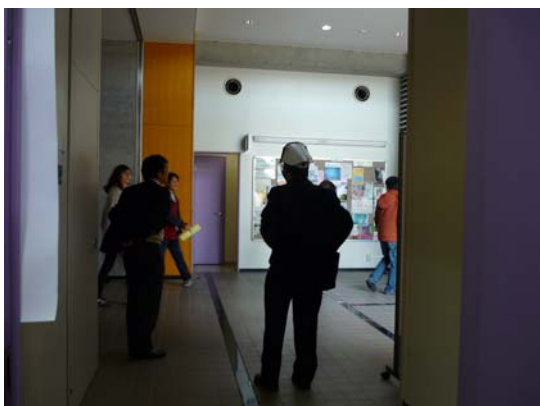


生命環境系危機対策本部

=避難経路確保のお願い=



12月7日、生命環境科学研究科では、全学あげての防災訓練に取り組み、無事終了いたしました。

想定地震発生から5分後、研究科のある総合研究棟A棟の研究科長室に「生命環境系危機対策本部」が設置されました。

防災訓練とはいえ、学群棟の学生、教職員達を速やかに避難場所に誘導するには、それぞれのセクションに分けての避難誘導システムを有効に稼働させるとともに、日頃からの心構えも重要です。

避難経路の整備もその一つです。

学内には多数の駐輪場所を設けております。しかしながら、所定の駐輪場所ではなく、建物の出入口付近には数多くの自転車が留められています。

その場所が避難経路であることを掲示しているにも関わらず、この日も避難経路を塞ぐように、自転車が留められておりました。

こうした一部の心ない行為が、万が一の場合に、避難の行く手を阻み、被害を大きくする可能性があるのです。このようなことは決してあってはなりません。

今一度、身の回りを確認して見てください。災害が発生した時、自分の身の安全を確保できる状況がそこにはあるでしょうか。

防災訓練終了後、防災無線を通じた山田学長からの挨拶にもあったように、生命環境系危機対策本部では、「想定外の被害」を被ることのないように心掛けてまいります。

